

議会だより

新年あけまして
おめでとうございます



決意を新たに

議長に

野口 久之議員

副議長に

山内 武夫議員を選出

委員会構成決まる

【常任委員会】

総務文教常任委員会
産業建設常任委員会
福祉厚生常任委員会

【議会運営委員会】

【特別委員会】

交通網対策特別委員会
議会広報特別委員会

議長に野口久之議員

副議長に山内 武夫議員を選出

平成23年11月24日に開催された第4回臨時会において、議長に野口久之議員、副議長に山内武夫議員を選出し、その後、各委員会委員の選任を行い、新たな委員会構成が決定しました。



公平公正な議会運営を

議長 野口久之

新年明けましておめでとうございます。
います。

24年の輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えにられましたこと、心からお慶び申し上げます。

日頃は議会に対しまして、格別のご理解ご支援を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

昨年11月24日に行われました臨時会におきまして、不肖私が第三代京丹波町議会議長の重責を担うことになりました。

微力ではありますが、新たな決意を持って、公平公正な議会運営のため精一杯努力してまいります。

地方分権社会の中で、少子高齢化や過疎化が進み、厳しい財政状況が続いておりますが、町民の皆さまにとって必要な施策やサービスが展開されるよう、懸命に努力してまいりますので、ご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年が京丹波町にとって躍進の年となるとともに、皆さまにとって幸多い年でありますことをお祈り申し上げます。

「町民に見える
わかりやすい議会」を目指して

副議長 山内 武夫

明けましておめでとうございます。
先般の臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき副議長に

就任させていただきました。微力ではありますが、円滑な議会運営に努めるとともに、より開かれた議会となるよう最善の努力を尽くす決意でございます。

昨今、全国的な少子高齢化、地方経済の疲弊の大きな波の中で、就労への不安、若者定住、子育て、医療、老後の不安など、町民の皆さまの暮らしは大変厳しいものがあります。

今こそ、地域力、住民力を結集し、町民皆さまを主体とした「やさしさとぬくもりのあるまちづくり」が求められています。

町民に見える、わかりやすい議会は議員活動の原点であります。皆さまが住みなれた地域で、安全で安心して暮らせるまちづくり推進のため、議会の改革・活性化、チェック機能の充実を図り、使命達成に努めてまいります。

皆さま方の一層のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

総務文教常任委員会



委員長
梅原 好範



北尾 潤
森田 幸子
野口 久之
梅原 好範
坂本美智代
村山 良夫
西山 和樹

町民の安心・安全な暮らし実現を目指して

所管課が広範囲に及び、審議する施策も多岐にわたりますが、町民の皆さまに理解されたうえで積極的に利用される行政施策となるよう、委員一丸となり活動いたします。

財政面においては、行財政改革の成果が着実に表れ、実質公債費比率などの財政指標が好転していますが、合併特例期間終了を見越し、更なる健全化対策を求めてまいります。

土地開発公社の存続が議論される中、負の遺産清算のみに捉われることなく、地域づくりなどとの連携を模索し、より良き方向性となるよう努めます。

言うまでもなく、「町民の安心・安全な暮らしの実現」を最優先に掲げながら、これらの諸問題に委員の総力を結集し、取り組む所存です。



山田 均
東 まさ子
横山 勲
松村 篤郎
岩田 恵一
原田寿賀美
小田 耕治

産業建設常任委員会

委員長
岩田 恵一



地域特性を活かしたまちづくりを

EUの金融不安、国内経済の低迷など、依然として厳しい社会経済情勢を背景に国政も混沌としており、さらに現政権はTPP参加方針を打ち出すなど、農林商工業を取り巻く環境は先行き不透明な状況下にあります。

本町においても生産基盤と生活環境の一体的な整備や地域資源の活用など、安定的な農林商工業の経営や改善が求められています。

京都縦貫自動車道丹波PA拠点整備推進や、畑川ダムによる水資源確保を始めとして、地域特性を活かしたまちづくりを積極的に進めていく必要があります。

本委員会としても、こうした諸課題に全力を上げ積極的に取り組んでまいります。



福祉厚生常任委員会



委員長
篠塚信太郎



山内 武夫 北尾 潤 篠塚信太郎 原田寿賀美 東 まさ子 村山 良夫 松村 篤郎

保健福祉の拡充で 安心なまちづくりを

本町は少子高齢化が急速に進行し、町民の命と健康を守り、安心して暮らせるまちづくりが行政に求められています。

委員会としては、保健・福祉・医療・介護事業の課題について調査研究を行い、その結果を町行政に提案を行ってまいります。

また、子ども手当や乳幼児医療等無料化などの福祉施策は、地方が発端となつて、国の制度化が実現した経緯があります。制度の拡充や新たな施策の制度化を図るため、国・府に対し、意見書を提出してまいります。

そして、今後ますます増大すると予測される保健・福祉施策を拡充し、町民が安心して暮らせるまちづくりのために、委員会としての使命を果たしていきます。

議会運営委員会

委員長
横山 勲



岩田 恵一 梅原 好範 山内 武夫 横山 勲 山田 均 篠塚信太郎 小田 耕治

活力ある議会運営を

当委員会は、議会運営に関することや、議会の規則に関すること、議長の諮問に関することを所管しています。

その主な内容は、定例会や臨時会の会期、会期日程、各議案、一般質問の取り扱いなどの調査、さらに予算や決算の審査の方法、請願や陳情の付託など、議会運営全般にわたる基本的事項についての調査をする委員会です。

議会運営委員として役割を果たせるよう、委員一同一生懸命取り組みます。

交通網対策特別委員会



委員長
東 まさ子



山田 均
村山 良夫
原田寿賀美
東 まさ子
西山 和樹
篠塚信太郎
小田 耕治

公共交通の充実へ

本委員会は、町営バス運行、JR山陰線、京都縦貫道などの交通網について調査研究を行います。

特に、少子・高齢化が進む本町では、安心して住み続けるために公共交通の充実が重要です。

バスの利用者は、車を使えない高齢者や児童・生徒がほとんどであり、交通弱者にとって欠かせない手段です。

その利用促進を図るためにも、実態にあった利用しやすいバス運行が求められます。

公共交通は、住民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりの大事な柱の一つです。公共交通の充実が図られるよう積極的に取り組みます。

議会広報特別委員会

委員長
北尾 潤



町民に対しての説明責任を

議会の大きな役割として、行政に対しての「チェック機能」があります。行政側が提案する施策やお金の使い道が、本場に現在のまたは将来の町民のためになるかをしっかりと審議して賛否を決します。

一方で町民に対しては「説明責任」があり、否決された議案はもちろん、可決された議案の中にも問題が内在しているものも多くあります。

議案を決議するまでの過程を町民の皆さまに知ってもらうことが、非常に重要となっています。

議会が町行政と町民を結ぶ信頼できる大きな架け橋になれるように、委員一同全力で取り組んでまいります。

第4回臨時会

11月24日開催

職員の給与に関する条例の改正

民間給与との格差を是正するため、人事院勧告に準じ、平均年間給与1万5000円、率にして0・23%引上げるもの。

(賛成12 反対3)

問 ラスパイレス指数が89・9の状況で、さらに引下げをすることをどのように考えているのか。

町長 無理な生活水準を強いているとの見解にはたっていない。

討論

反対 山田 均 議員

人事院勧告を実施するまでに、国家公務員の給与水準に引上げることを指摘し反対する。



京丹波町議会構成

議長	野口 久之	副議長	山内 武夫	監査委員	小田 耕治
----	-------	-----	-------	------	-------

【委員会構成】

委員会 役職	議会運営 委員会	常任委員会			特別委員会	
		総務文教 常任委員会	産業建設 常任委員会	福祉厚生 常任委員会	交通網対策 特別委員会	議会広報 特別委員会
委員長	横山 勲	梅原 好範	岩田 恵一	篠塚信太郎	東 まさ子	北尾 潤
副委員長	山田 均	坂本美智代	松村 篤郎	原田寿賀美	西山 和樹	森田 幸子
委員	小田 耕治	村山 良夫	小田 耕治	村山 良夫	小田 耕治	梅原 好範
	篠塚信太郎	西山 和樹	横山 勲	東 まさ子	篠塚信太郎	横山 勲
	梅原 好範	北尾 潤	山田 均	松村 篤郎	村山 良夫	岩田 恵一
	岩田 恵一	森田 幸子	東 まさ子	北尾 潤	山田 均	松村 篤郎
	山内 武夫	野口 久之	原田寿賀美	山内 武夫	原田寿賀美	坂本美智代
						山内 武夫

【議会選出議員】

京都中部広域消防組合 議会議員		船井郡衛生管理組合 議会議員		国民健康保険南丹病院 事業組合議会議員
野口 久之	梅原 好範	山内 武夫	篠塚信太郎	野口 久之
京都府後期高齢者医療 広域連合議会議員		京都地方税機構 議会議員		
野口 久之		梅原 好範		

編集後記

この議会だよりでは、京丹波町議会の審議内容を「正確に」「わかりやすく」「公正に」伝えていきます。私たちはインターネットを通して、今までの紙媒体以上に膨大な量の情報を早く手にすることができるようになりました。

しかし本町では、区長さんを通して、皆さんのお手もとに議会の息づかいが届けられ、そのことにこそ大きな意味があると信じて、2年間活字と格闘していきたいと思えます。

(J・K)

